

吉田十二議員 国の三位一体の改革により、本町の経済状況は全ての業種が、生死の現状にある。

私が3~4年続ければ、夕張市のようなではと懸念をしている。合併の最大目的は経費節減をし、他の産業振興を進めることが重要と考える。

行政には民間と比較し、経費節減できるものが多いためを感じるので、最善の努力をされたい。

特に各課及び支所には沢山の車があるが、現在何台あるのか。また、これらに要する年間経費はいくらいでありますか。また、これ

山の車があるが、現在何台あるのか。また、これらに要する年間経費はいくらいでありますか。

吉田十二議員



復興を待たれる蓮華会舞



石田茂春議員

「行政改革実施計画」に沿って職員適正化は進んでいるか。

松田町長 十九年四月計画315名に対しても、目標値に6名達している。

議員 町民の声に耳を傾けているのか。時の流れに任せてしまうのか。

町長 計画通りの進捗と伝承が早く再開されるよう、町の支援が必要と思うが。

松田町長 本町の公用車は合併後42台減らして、

177台あり、年間車両経費は約750万円。今後公用車総量削減を基本に適正配置を検討する。

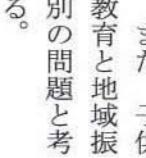
蓮華会舞の保存伝承については、県からも心配を頂いており、教育委員会を事務局として、支援策を検討していく。

藤田教育長 人事・予算の対応などから、今年2月初めまでには地区並びに保護者の皆さんと、合意が得られますよう努める。

議員 中村・布施小学校も同じく、財政面だけではなく廃校地区は今以上

安部光弘議員 町村合併前を振り返ってみて、①本庁にだけ職員を配置し、旧役場周辺の衰退は予想通りである。②わしらの生きがいである「デュー」をなくしてしまった。③の統廃合の話が出てし

松田町長 適正規模の地方公共団体に再編して行く必要性から行財政改革大綱を策定し、まちづくりに取り組んでいる。①のようない状況にある。②の金屋デイサービスは昨年4月の介護保険法の改正で、これまでの「まるごとサポート事業」の補助が廃止された。十八年度は事業を継続してきた



安部光弘議員

なつてない。島根県市町村総合事務組合に対し、早期退職者を募る「新たな制度」の検討をお願いし、今後も引き続き、職員の適正化に向け積極的に取り組む。

議員 給料削減は何%の削減を考えているか。

町長 現在一般職員で8%

、管理職員10%。新年度は更に削減する必要があり、職員組合に協議を行っている。

議員 給料削減は何%の削減を考えているか。

町長 現在一般職員で8%

、管理職員10%。新年度は更に削減する必要があり、職員組合に協議を行っている。